

北九州市は市制50周年を迎えました。

For The Future

2013年2月10日、北九州市は市制50周年を迎えました。1963年のこの日、旧門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5市が合併して新たに「北九州市」が誕生しました。5市の対等合併による新しい市の誕生は他に例のないことで、全国から注目を集めました。以来、日本有数の工業地帯として日本の高度経済成長を支え、商業の街・福岡市に対し「ものづくり街」として大きな発展を遂げました。

1970年代初め、工業地帯の繁栄は深刻な公害問題を引き起こしましたが、市をあげて解決に取り組み、これを克服しました。今では世界の環境首都を目指した様々な取り組みを進め、アジアの玄関口としての役割も担っています。

また本誌の連載でも紹介のとおり、北九州発祥の料理など、名物もたくさんあります。近年は「産業観光」も注目され、多くの方が訪れています。

1915年に八幡の地で創業した当社は、今も本社・ロボット工場を置き、開発研究所やモータ工場など、主要な拠点は北九州にあります。近年、海外拠点の強化を続けていますが、開発や生産の中核機能は今後も北九州の地に置きながら国内外の事業強化を図っていきます。2015年の創立100周年に向けて、現在、本社事業所においてロボット工場の増設、建屋の再編を進めています。

■ お問い合わせ先 人事総務部 TEL 093-645-8801 FAX 093-631-8837

陸上部 NEWS

<http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

長距離選手が最も活躍するマラソン、駅伝、ロードレースのシーズンが到来しました。

駅伝初戦となるグランツール九州では、8日間に渡る長上場に当社から7名の選手が福岡県代表として出場。全員が区間賞を獲得し、3年ぶりの福岡県優勝に大きく貢献しました。

続いてニューイヤー駅伝の九州地区予選となる九州実業団毎日駅伝が11月23日に開催されました。2区で昨シーズンから急速に力をつけてきた久保田大貴選手が八木山峠を軽快な足取りで登り、これまでの区間記録に9秒と迫る区間賞を獲得。チームの2位に大きく貢献しました。

このように好走した久保田選手は、ニューイヤー駅伝へ向けて順調な仕上がりを確認するためにタイムトライアルin長崎に出場。10000mで現チーム内では上位にランクする28分台中盤の自己記録を達成しました。

一方、マラソンでも注目され始めた当社陸上部ですが、この勢いに乗るかのように黒木文太選手が福岡国際マラソンに出場しました。スタートから30km過ぎまで先頭集団の中で余裕を持ってレースを進め、結果2時間10分8秒の好タイムで日本人選手3位となる総合5位でフィニッシュしました。

そして元日にニューイヤー駅伝を迎えました。

駆け引きなどが多く、非常に難しく失敗が許されない1区で黒木選手が見事な走りを見せ先頭が見える位置でタスキを繋ぐと、2区デスタ・アレム選手が先頭まで手の届く位置まで追い上げました。そして3区北島寿典選手で単独2位に躍り出たあと、4区中本健太郎選手で中盤まで先頭に立つという見事な活躍を見せました。その後、順位を落としましたが、5区久保田選手、6区飛松誠選手と実力通りの走りを見せ、7区小畑昌之選手が

区間7位とまとめて、11位でフィニッシュしました。順位は昨年、一昨年と比べると落としてしまいましたが、オリンピックを経験した中本選手で一旦先頭に立つなど、当社にとっては見せ場の多い大会でした。今年も当社陸上部の活躍にご期待下さい。

久保田大貴選手
(九州実業団毎日駅伝)



◆ 2012年10月～2013年1月の主な戦績

日程	大会名	実績
11月23日	九州実業団毎日駅伝	前半で遅れるも、後半に盛り返し2位。
12月2日	福岡国際マラソン	黒木選手5位(日本人3位)。
12月2日	タイムトライアルin長崎	10000mで久保田選手2位(自己新)。 平野選手15位。
1月11日	全日本実業団駅伝(ニューイヤー駅伝)	11位。

選手の声：

毎日駅伝、ニューイヤー駅伝と自分自身初めての駅伝でした。毎日駅伝では満足のいく走り、結果だったと思っていますが、ニューイヤー駅伝ではチームの足を引っ張ってしまいました。この悔しさはニューイヤーでしか返せないと思うのでまた1年努力して2014年のニューイヤー駅伝でリベンジしたいと思います。

久保田 大貴